【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和6年9月6日(2024.9.6)

【国際公開番号】WO2023/145685
【出願番号】特願2023-576896(P2023-576896)
【国際特許分類】
Ｂ２９Ｃ 39/44(2006.01)
Ｇ０２Ｂ 1/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２９Ｃ 39/44
Ｇ０２Ｂ 1/04

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月25日(2024.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１原料と第２原料とを混合することにより、２種以上の異なる光学材料用モノマーと、重合触媒と、を含有する光学材料用重合性組成物であって、下記条件１によって測定される標準偏差が６０以下であり、Ｂ型粘度計で２５℃　６０ｒｐｍの条件で測定した粘度が３０ｍＰａ・ｓ～１０００ｍＰａ・ｓである光学材料用重合性組成物を得る第一の工程と、
前記光学材料用重合性組成物を用いて光学材料を製造する第二の工程と、
を含む光学材料の製造方法。
〔条件１〕前記標準偏差は、前記第１原料と前記第２原料との混合物を光路長８ｍｍ、面積３６０ｍｍ^2、厚さ１２ｍｍの石英製セルに入れて、シャッター１／５０００（ｓｅｃ）、ガンマ補正１００、シャープネス５００、コントラスト及び明るさ０の条件でガラス脈理検査装置を用いて画像を測定し、前記画像を、画像解析ソフト（ＩｍａｇｅＪ）によって解析し、縦軸をピクセルドット数とし横軸を輝度とする正規分布と仮定して算出する。
【請求項２】
前記標準偏差が２０以上である請求項１に記載の光学材料の製造方法。
【請求項３】
前記第１原料が、前記２種以上の異なる光学材料用モノマーの一部と前記重合触媒の少なくとも一部とを混合し、前記２種以上の異なる光学材料用モノマーの一部における少なくとも一部を重合させて得られるプレポリマーを含む請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項４】
前記第二の工程は、前記光学材料用重合性組成物をモールドに注型し硬化させて光学材料を製造する工程である請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項５】
前記２種以上の異なる光学材料用モノマーが、２つ以上のイソシアネート基を含むイソシアネート化合物（Ａ）と、２つ以上のメルカプト基を有するポリチオール化合物、１つ以上のメルカプト基と１つ以上の水酸基とを有するヒドロキシチオール化合物、２つ以上の水酸基を有するポリオール化合物、及び、アミン化合物からなる群から選択される少な

くとも１種を含む活性水素化合物（Ｂ）と、を含む請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項６】
前記重合触媒が、ｐＫａ値が４～８である塩基性触媒、及び、有機金属系触媒からなる群から選択される少なくとも１種を含む請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項７】
前記重合触媒が、アミン系触媒及び有機錫系触媒からなる群から選択される少なくとも１種を含む請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項８】
前記重合触媒が、３，５－ルチジン、２，４，６－コリジン、トリエチレンジアミン、Ｎ，Ｎ－ジメチルエタノールアミン，トリエチルアミン、Ｎ－エチルモルホリン、ジブチルスズジクロリド、ジメチルスズジクロリド、ジブチルスズジラウレート及びジブチルスズジアセテートからなる群から選択される少なくとも１種を含む請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。
【請求項９】
前記第１原料のＢ型粘度計で２５℃　６０ｒｐｍの条件で測定した粘度Ｖａと、前記第２原料のＢ型粘度計で２５℃　６０ｒｐｍの条件で測定した粘度Ｖｂと、の差の絶対値Ｖが、１０ｍＰａ・ｓ以上である請求項１又は請求項２に記載の光学材料の製造方法。